

平成29年度中央林間小学校全国学力・学習状況調査結果報告

今年度の「全国学力・学習状況調査（6年対象）」の本校の結果がまとまりましたので、お知らせします。学力調査（国語・算数）と学習状況調査（児童アンケート調査）に分けて、全国平均と比べて特徴的なことと今後の対策をまとめてみました。※各教科ともA問題（基礎的内容）とB問題（活用的内容）です

学力調査

国語

A問題、B問題ともに安定した力を発揮できている。

○良好だった内容として、A問題では「目的や意図に応じて詳しく書く、必要な情報を見つけて読む」、B問題では「目的に応じて文章全体の構成を考える」や「場面についての描写を捉える」の設問でよくできている。

▼課題があった内容として、A問題で、漢字を書く問題、「置く」「対象」の読みで間違いが多かった。B問題では「話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモの良さを捉える」の設問で苦手な面が見られた。

★習熟の時間等を使い、引き続き密度の濃い練習をさせていくとともに、日頃の文章を書く活動等で適切な漢字を用いて表すことができるよう、「辞書を引く習慣を身につけさせる」など、きめ細かい指導も行う必要がある。

算数

A問題・B問題ともに安定した力を発揮できている。

○良好だった内容として、A問題の「リボンを2m買ったときの代金と3m買ったときの代金を書く」「 123×52 」「出席番号1番の人は二次元表のどこに入るかを選ぶ」の設問でよくできている。B問題では「示された考えを基に、54-45の場合で残る部分を図に表す」の設問で正答率が高い。

▼課題があった内容として、A問題で「 60×0.4 を基にして考えるときの、正しい積の求め方を選ぶ」「 $5 \div 9$ の商を分数で表す」、B問題では「与えられた情報から基準値、比較量、割合の関係を捉え、『最大の満月の直径』に近い硬貨を選び、選んだ理由を書く」の設問で、苦手な面が見られた。

★整数、小数、分数の計算、図形について基礎的・基本的な知識・技能が身に付くように繰り返し指導するとともに根拠を明らかにして自分の考えを言葉や数を使って書くことなど、授業を通して習慣化させていきたい。

学習および学校生活

学習状況調査

○良好であった内容

・学校に行くのは楽しい ・先生は自分の良いところを認めてくれている。 ・総合的な学習では、自分で課題を立てて情報を集めて、整理して、調べたことを発表する学習活動にしっかり取り組んでいる ・国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している ・算数で新しい問題を解きたい、もっと簡単な方法で解いてみたいと思う

▼課題があった内容

特に課題があった内容はありませんでした。

★学習に自ら主体的に参加する姿勢を育てながら、授業での話し合い活動を充実して、自分の意見、考えをしっかりと伝えることができるようにする。

家庭学習・生活習慣

○良好であった内容

・授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしている ・テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている ・家の人と学校のことをよく話す ・学校以外でよく勉強する

▼課題があった内容

・家で授業の復習をしている

★基本的な生活習慣はしっかりしている。家庭と連携を密にしながらか家庭学習に取り組ませていきたい。

社会に対する興味・関心および規範意識

○良好であった内容

・自分により所がある ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る。 ・失敗を恐れなくて挑戦している。

▼課題があった内容

・地域の行事に参加している。

★自己肯定感が高いが、地域への参加が弱いため、できる限りの参加を呼び掛けていきたい。

【凡例】 全国平均と比べて・・・

○：良好であった内容 ▼：課題があった内容

★：今後の指導のポイント